

SOSEKI IN LONDON
(ロンドンでの漱石)

P.131

【BEFORE YOU READING】 省略

【WORDS】

Hong Kong	〔固有名詞〕	香港
Colombo	〔固有名詞〕	コロンボ
Naples	〔固有名詞〕	ネーブルズ
Eiffel Tower	〔固有名詞〕	エッフェル塔
Impress(ed)	〔動詞〕	感銘を与える
view	〔名詞〕	眺め、視野、見解
Sri Lenka	〔固有名詞〕	スリランカ
Temple	〔名詞〕	神殿、寺院

P.132

夏目漱石は、当時の文部省によって学生としておよそ 100 年前にイギリスへ派遣された。

彼は当時 33 歳で、熊本県第五高等学校の教授だった。

彼は 1900 年の 9 月に船で横浜を出航し、2 ヶ月後にロンドンに着いた。

当時、イギリスは他の国々よりも発展していた。

ロンドンにはすでに地下鉄網があった—東京初の地下鉄の 30 年前である。

漱石の見るもの聞くもの全てが不思議だった。

【POINT】

Everything (that) [Soseki saw and heard] was a wonder.
S S' V1 V2 V C

この文では、Soseki 以下が Everything を修飾している。

Everything と Soseki の間に関係代名詞 that が省略されていると考える。

彼は古本を買うこと、公園を散歩すること、そして劇場へ行くことを楽しんだ。

彼は妻への手紙に書いた:「君が素晴らしい劇場のショーを見られたら良かったのに。

1 つのショーで、私は 60 人ほどの女性が豪華な衣装を身に着けてステージ上で踊っているのを見た。」

【文章構造:SVOC】

I saw about sixty women dancing on the stage / in gorgeous costumes.
S V O C

see+O+C で「O が C であるのを見る」という意味で、SVOC の構造になっている。

SVOC の構文(第 4 文型)では、O=C が成り立つ。